

車載用電池事業のグローバル競争とビジネス展開

-LIBの安全性評価・充電インフラ・車載電池の再利用とリサイクル etc-

講師：佐藤 登氏 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授

エスベック（株）上席顧問 イリソ電子工業（株）社外取締役 工学博士

グローバル競争が続く車載電池は正に経済安全保障にまで発展しており、産業界だけではなく国益としての国を挙げた政策が必要になっています。各国の電動車に関する加速法規や米国のインフレ抑制案、EU発の電池リサイクル規制案など、日本にとっては逆風の方が強くなっている状況が続いています。そのような中で、海外勢の自動車各社と電池各社の動向を睨みながら、国内の自動車各社と電池各社にも大きな動きが出てきています。一方、安全性にまつわる現状では海外のEVやPHEVで火災事故とリコールが頻発してきたのに対して、日系の電池を搭載した日系自動車各社のxEVでは26年の長きに亘って公道での火災事故は1件もなく、圧倒的な信頼性を実績として打ち出しています。

液系リチウムイオン電池に対しては、経済産業省主導の「蓄電池産業戦略官民協議会」が2021年11月から22年8月末まで開催され、講師も有識者委員として多くの提案を行ってきました。結果として、国も電池産業に投資する方向付けを行いました。そして次世代電池として期待されている全固体電池は、実用化までのロードマップが延びつつあり、課題の大きさが浮き彫りになっています。将来のあるべき日本の電池産業に向けての課題と解決についても解説します。

【講師略歴】1978年横浜国立大学大学院工学研究科電気化学専攻修士課程修了後、本田技研工業に入社。89年までは自動車の腐食防食技術の開発に従事。社内研究成果により88年に東京大学工学博士。90年に本田技術研究所の基礎研究部門へ異動。電気自動車用の電池研究開発部門を築く。99年から4年連続、および2018年、19年、20年、21年にも「世界人名事典」に掲載される。栃木研究所チーフエンジニアであった04年9月に、韓国サムスンSDI常務に就任。09年8月までの5年間は中央研究所にて技術経営にあたる。09年9月から本社経営戦略部門に異動と同時に、逆駐在の形で東京勤務。12年12月にサムスンSDI退社。11年から名古屋大学、13年からエスベック（株）、21年からイリソ電子工業（株）。経済産業省「蓄電池産業戦略官民協議会」有識者委員。近著に「電池の覇者」日本経済新聞出版、2020年9月23日刊行。

開催日時	2023年5月16日（火）13:30~16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。 詳細は裏面をご覧ください。
受講料	44,000円（税込） ※資料付 *メルマガ登録者 39,600円（税込） *アカデミック価格 26,400円（税込）	

*アカデミック価格：学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】 2名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をいただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。

★【セミナー対象者】自動車業界、電池業界、部材業界、電池製造業界、試験機器業界などのエンジニア、企画部門やマーケティング部門従事者等

【本ウェビナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

- 自動車電動化の法規動向と対応
 - 米国 ZEV 法規発効からの電動化の流れ
 - 各国の環境規制と電動化の加速
 - 中国の電池政策～NEV規制の方針転換の影響
- 自動車各社の取り組みと電池戦略
 - トヨタ自動車
 - ホンダ
 - 日産自動車
 - 欧米韓自動車各社の動向
- LIB業界のビジネス動向と今後
 - 各国の電池産業の現状と課題
 - 電池業界における競争力比較
 - 経済安全保障としての国別電池産業戦略
- LIB部材の変遷・市場動向
 - 各部材ごとの課題
 - 日系部材の急激なシェア低下の現状と背景
 - 中国部材メーカーの躍進が及ぼすサプライチェーンの変遷
- LIBの安全性評価と受託試験・認証事業
 - 車載用電池の事故・リコールの歴史
 - 国連規則と認証事業
 - エスベックの受託ビジネス・認証ビジネス
 - ECE R100 Part IIの試験項目と事例
 - 充電インフラの各国状況と日本の対応
- 定置型蓄電池ビジネスの現状と今後
- 車載電池の再利用とリサイクル
 - 再利用の事例と課題
 - 再利用にあたっての取り組むべき事項
 - EUリサイクル規制案
 - 元素リサイクルの必要性と課題
- 次世代革新電池の研究開発状況と課題
 - 期待される次世代電池
 - 全固体電池の現状と課題
- 日本の各業界と政府における課題と対応策
 - 自動車業界
 - 電池業界
 - 部材業界
 - 投資に対する国の直接支援の必要性

弊社記入欄	ウェビナー申込書		
セミナー名	車載用電池事業のグローバル競争とビジネス展開		
所定の事項にご記入下さい メルマガ会員、登録希望の場合は○↓	会社名（団体名）	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
		氏名	
お支払方法	銀行振込 ・ その他	お支払予定	2023 年 月 日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。

■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

■申込先：(株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町2-7 TEL 03-3293-7053

■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧になれます。⇒ <https://cmcre.com>

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

車載用電池事業のグローバル競争とビジネス展開

-LIBの安全性評価・充電インフラ・車載電池の再利用とリサイクル etc-

講師:佐藤 登氏 名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授

エスベック (株) 上席顧問 イリソ電子工業 (株) 社外取締役 工学博士

当該セミナーは、**ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）**です！

【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

【お申し込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声がかかる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。